

中学校地理 18 ポイント A5 版

第5節

関東地方



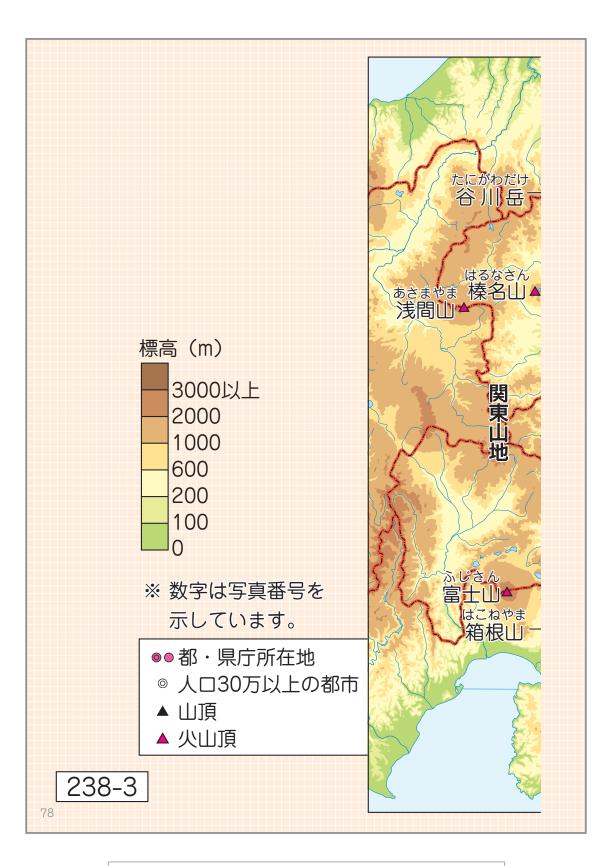
人口や都市・村落に注目して

第5節の問い p.235~249 関東地方における人口の集中は, 人々の生活や産業にどのような

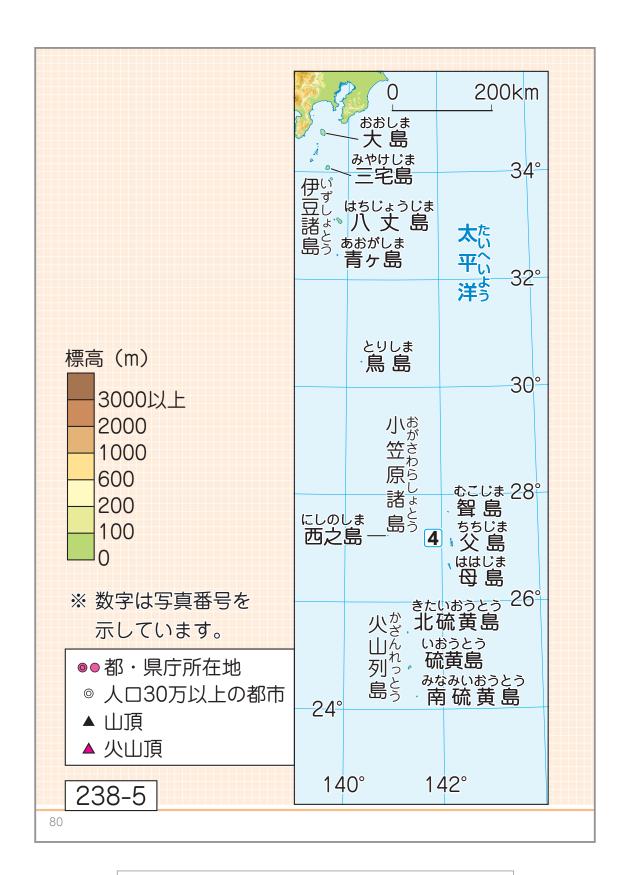
えいきょう あた 影響を与えているのだろうか。

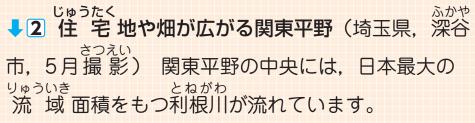
238-1

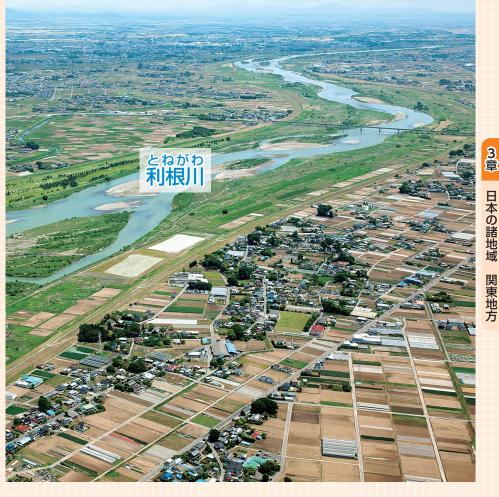












238-6

1 関東地方の かんきょう 自然環境

学習 課題

関東地方では、地形や気候にどのような 特色がみられるのだろうか。

日本で最も広い 関東平野

関東地方は1都6県からなり、約4000万の人々が暮らす、最も人口の多い地方です。日本最大の平野である関東平野を中心をあるごさんみゃくに、西は関東山地、北は越後山脈、阿武隈高地などに囲まれています。関東平野にはこねやまかじさんがあがんばいが進積がんとうしてきた赤土(関東ローム)に覆われたいます。できた赤土(関東ローム)に覆われたがあった。

238-7

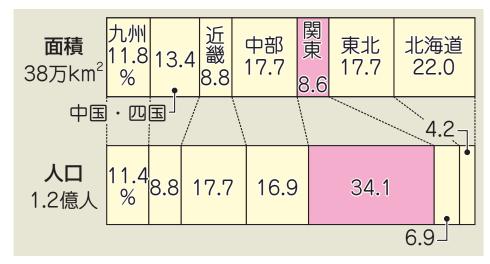
あらかわ たまがわ かせんぞ 荒川, 多摩川などの河川沿いにできた低地 が広がっています 2。

関東平野は、17世紀初めに江戸幕府が開 かれてから開発が進み、人口が増えていきま しもうさ 下 総台地などの台地は水が得にくく, 畑作地として開墾されましたが、今日では じゅうたく 住宅 地やゴルフ場なども多く見られます。 -方. 川沿いの低地は水が得やすいので水 田に利用され、人口が多い都市部では高 ビルも見られます (**→** 236-2 たいへいょう 太平洋に面し ^{すなはま} ような砂 浜海岸 (➡ られます。東京湾は海岸線の大部分が埋め 立てられたため、自然のままの海岸線はほ うめたで 埋 立地は工業用地な とんど残っておらず. どに利用されています (→ 161-2

238-8

し わりあい **3 日本の面積・人口に占める関東地方の割** 合

(2019年)〈住民基本台帳人口・世帯数表 平成31年版, ほか〉



小学校●歴史●公民との関連

日本の自然環境(小), 防災対策(小)

238-9

3章 日本の諸地域 関東地方

内陸と海沿いで 異なる気候

関東地方の大部分は太平洋側の気候 (➡ 147-7 ページ) ですが, 内陸と海沿いでは気候が異なります。

北関東を中心とする内陸は,夏と冬の気温差が大きく,降水量が少ないのがきせつふう特徴です。特に冬は,北西の季節風(→ 51-8 , 147-1 ページ)が越後山脈などにぶつかって雪を降らせたあと,乾いた風 1 となって関東平野に吹き降りてくる 5 ため,晴天の日が続きます(→ 147-5 ページ)。夏は,埼玉県熊谷市のように毎年高温になる町もみられ,山沿いでは雷雨がしばしば発生します。

239-1

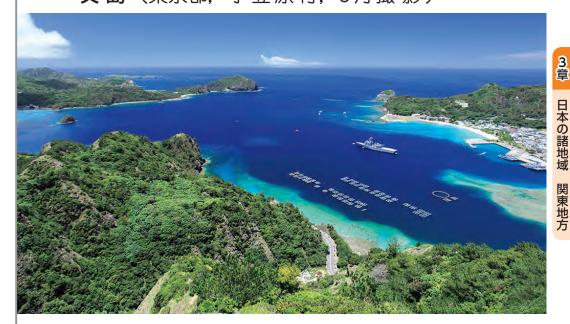
一方、南関東を中心とする海沿いの地域は、黒潮が近海を流れる(→ 145-3 ページ)ため、冬でも温暖なのが特徴です。 房総半島や三浦半島は、冬に観光農園で花摘みが楽しめることでも知られています 6。東京都に属する伊豆諸島などの島々は一年中温暖で、特に緯度が低い小笠原諸島の島々は、南西諸島(→ 182-3 ページ)と同じような気候です 4。

高層ビルが立ち並ぶ東京の中心部では、 気温が周辺地域よりも高くなるヒートアイランド現象がみられます。また近年は、 短時間のうちに大雨をもたらす局地的大雨 (ゲリラ豪雨)が、気温が高くなる夏に、関東地方の至る所で発生しています。

239-2

1 「からっ風」や「赤城おろし」,「男体おろし」,「気波おろし」など,地域によって,さまざまなめいしょう 名称でよばれています。

いさん とうろく おがさわらしょとう **↓4 世界遺産に登録されている小笠原諸島の**ちちじま おがさわらむら さつえい **父島**(東京都、小笠原村、6月撮影)



238-10 239-3



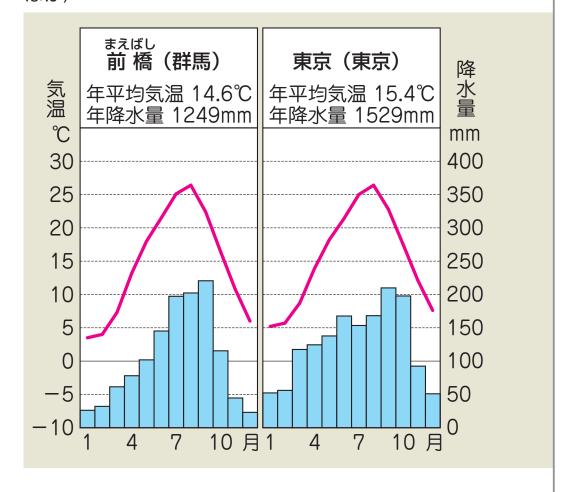
239-4

で **16** 花摘みを楽しむ観光客が見られる 房 総 半島の みなみぼうそう さつえい 花畑 (千葉県, 南 房 総 市, 2019年2月撮 影)



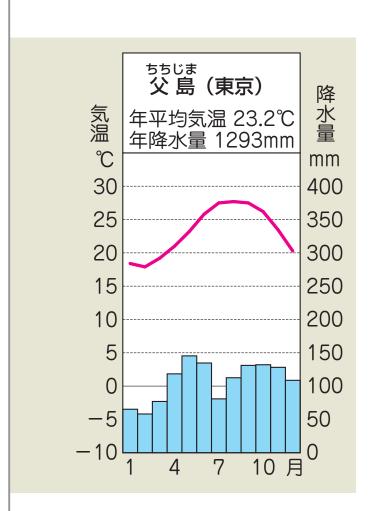
239-5

↓8 関東地方の主な都市の雨温図〈理科年表 2020, ほか〉



239-6





資料活用まえばし
前橋,東京,父島の位置を,図1で
かくにん
確認しよう。

239-7

▶●未来に向けて

防災

すいがい そな 都市型の水 害に備える取り組み



近年,集中豪雨や局地的大雨によって,都市型の水害が起こりやすくなっています。都市部では,自然を改変して住宅地や道路を整備したので,地面の多くがアスファルトやコンクリートで覆われています。そのため,雨水が地下にしみこみにくく,雨量が下水道や遊水地などの排水処理能力の限界を短時間のうちに超えると,氾濫や浸水が生じやすくなります。こうした都市型の水害を防ぐ取り組みの一つに,地下に設置される調節池や放水路などがあります。例えば,埼玉県東部の春日にかなります。付んがいかすかまかまかが、埼玉県東部の春日には、総延長約6.3kmにわたる首都圏外郭はかり建設されました。この放水路は,大雨

239-8

92

などであふれそうになった中川などの水を一時

ちょすい えどがわ 的に貯水し、江戸川に排水することで、中川・

3章 日本の諸地域

関東地方

あやせがわりゅういき こうずいひがい やくわり にな 綾瀬川流域の洪水被害を防ぐ役割を担っています。

しゅとけんがいかく **7 首都圏外郭放水路**(上)(埼玉県, 春日部市, さつえい 2015年撮影) **とその位置**(下)





239-9

93

中学校地理 18 ポイント A5 版



関東地方における内陸と海沿いの気候の ^{5が} かくにん 違いを、図**8**で確認しよう。



関東地方の地形の 特 徴 について, 「台 で < 地」と「低地」の語句を使って説明しよう。

239-10